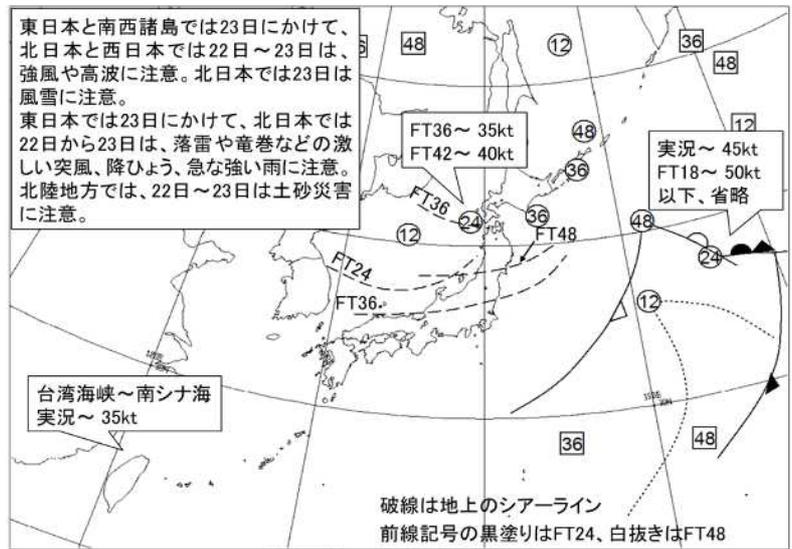


1. 実況上の着目点

- ① 北日本～山陰沖にはシアーラインがあって東進。シアーライン近傍の北陸付近では雷を検知し、1時間に10～20mmのやや強い雨を解析している。
- ② 日本の東には発達中の低気圧があって東北東進。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなっており、東日本太平洋側ではやや強い風が吹き、波が高い所がある。また、南西諸島では、中国大陸から東シナ海に張り出す高気圧縁辺のやや強い～強い、北～北東風により、うねりを伴い波の高い所がある。
- ③ 中国東北区に 500hPa 5340～5460m に-30℃以下の寒気を伴う深いトラフがあって南東進。衛星水蒸気画像では暗域となっている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のシアーラインは、東北～北陸地方の陸上に達し、22日夜には不明瞭となる。北陸地方や東北地方の降水や不安定現象は次第に弱まる。
- ② 1項②の低気圧は、日本の東～日本のるか東を発達しながら北東進。東日本太平洋側では低気圧は遠ざかるが、21日はうねりを伴った高波に注意。南西諸島では、引き続き、中国大陸から張り出す高気圧の北～北東のやや強い～強い風の影響を受けて、うねりを伴い波の高い状態が続く。南西諸島では23日にかけて、強風やうねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項③のトラフは、ゆっくり東南東進し、22日～23日に北日本を通過。トラフに対応する低気圧が日本海を発達しながら東北東進し、22日日中に渡島半島付近を通過。日本海には北風と北西風のシアーラインが形成され、23日夜にかけて日本海～東北・北陸地方を南下する。低気圧は22日夜には不明瞭となるが、トラフ前面の千島近海で低気圧が新たに発生し、オホーツク海を発達しながら北上する。また日本海北部には、22日夜までに北東と北西風によるシアーラインが形成され、23日朝にかけて北日本を南下する。北日本や東～西日本の日本海側では、低気圧やシアーラインと大陸から張り出す高気圧との間で気圧の傾きが大きくなるため、強い風が吹き、波が高くしける所がある。また低気圧やシアーライン近傍では上空寒気等の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では、22日～23日は強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、急な強い雨に注意。23日は北海道付近に850hPa -9℃以下の寒気が流入。北日本では雪の降る所もあり、風雪にも注意。北陸地方では、シアーラインの影響で断続的に雨が降り、大雨となる所がある。22日～23日は土砂災害に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場は GSM を基本とするが、北海道付近を進む低気圧の予想は MSM を参考にしている。量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：東北・沖縄4、北海道・関東・伊豆諸島・北陸・近畿・中国3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。